

Isolation of Influenza A/H3 and B Viruses from an Influenza Patient: Confirmation of Co-Infection by Two Influenza Viruses

Shoichi TODA, Reiko OKAMOTO, Tomoko NISHIDA, Toshiki NAKAO,
Masatoshi YOSHIKAWA, Eitaro SUZUKI, Shigenori MIYAMURA

Jpn. J. Infect. Dis., 59, 142 ~ 143(2006)

これまで、インフルエンザウイルスの異なる型(亜型)による混合感染事例の報告はあったが、A型とB型による混合感染事例からのウイルス分離の報告はなかった。

医療機関において、迅速診断キットによりA型、B型ともに陽性と判定されたインフルエンザ患者からMDCK細胞によりウイルス分離を実施し、得られたウイルス初代分離液に、A/H3型とB型の2種類のウイルスが存在することを確認した。

この2種類のウイルスが混在している初代分離液から、ブランククローニング法によりA/H3型とB型のウイルスを完全に分離してその同定を実施した。

分離されたA/H3型とB型の2種類のウイルスは、どちらも同時流行した主流株に抗原的に類似した株であることを抗原解析により示し、両者の混合感染であることを確定した。

Antimicrobial Susceptibility Survey of *Streptococcus pyogenes* Isolated in Japan from Patients with Severe Invasive Group A Streptococcal Infections

Tadashi IKEBE, Kyoko HIRASAWA, Rieko SUZUKI, Junko ISOBE, Daisuke TANAKA, Chihiro KATSUKAWA,
Ryuji KAWAHARA, Masaaki TOMITA, Kikuyo OGATA, Miyoko ENDO, Rumi OKUNO, Haruo WATANABE

Antimicrob. Agents and Chemother., 49, 788 ~ 790(2005)

劇症型A群溶レン菌感染症事例から分離された菌株211株の薬剤感受性を調査した。erythromycin耐性3.8%、clindamycin耐性、telithromycin耐性がそれぞれ1.4%、ciprofloxacin耐性が0.5%検出された。また、cipro-

floxacinに対して中程度耐性をもつものが10.4%検出された。ampicillinとcefotaximeにはいずれの株も感受性であった。